

## 【概要と成果】

平成 27 年度は、昨年度に引き続き、和歌山県における市民公益活動を支える様々なプログラムを実施した。

昨年度より継続実施している印南まちづくり基金については、2 回目となる助成を実施した。贈呈式に併せて、前回助成団体による中間報告会を開催した。チャレンジファンドについては、より多くの市民活動団体への寄付が仲介できるよう、募集を随時行うこと、申請内容に関して理事によるヒアリングを通じたブラッシュアップの実施等の見直しを行った。子ども未来基金については、子ども、子育て分野の活動団体のリストアップや取材を行い、ブックレットの制作を進めた。その他、全国コミュニティ財団の全国会議に参加し、ガイドライン策定に参画した。京都地域創造基金との業務連携による事務局運営および寄付者管理の効率化の開始、クレジットカード決済機能の導入を進めた。

寄付募集に関して、いきいき和歌山がんサポート、盲ろう者友の会、わかやまマジカルミュージックツアー実行委員会等 8 団体から相談を受けた。認知度も徐々に上がってはいる状況である。しかし、寄付は前年度に比して減少しており、ファンドレイジングに結びついていない状況であり、それに伴い助成額も減少するという課題も浮き彫りとなった。

次年度は、市民コミュニティ財団として、より認知度の向上を目指し、継続的な事業実施のため、引き続きファンドレイジングの強化、事務局のより効率的な運営を進めていく。

## ■ 資金仲介についての成果 数値寄付・助成プログラムの成果

平成 27 年度は、新たに頂いた 5,338,569 円（前年度比 1,110,763 円減）の寄付をもとに、ほっとけない市民公益活動を支え、地域課題解決に貢献することができた。

- ・ 地域・テーマ別基金での助成： 948,500 円（1 基金 5 事業）

各助成プログラムと基金への寄付額のうち 10-30%程度（事業による）と財団運営への寄付はそれぞれの助成プログラムや寄付募集の費用としても活用。